

# 第108期中間報告書

自 平成15年 4 月 1 日

至 平成15年 9 月30日

株主の皆様へ

東京都練馬区豊玉北6丁目15番14号

# 澤藤電機株式会社

代表取締役社長 上 光 勲

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。日頃は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第108期上半期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに中間決算の内容につきましてご報告申し上げます。

## 営 業 報 告 書

〔自 平成15年4月1日〕  
〔至 平成15年9月30日〕

### 営業の概況

当上半期のわが国経済は、堅調な輸出にけん引された生産活動の活発化などにより、民間設備投資が増加に転じたことに加えて、株式市場における株式相場が上昇したことなどから、景気は底バイから回復の兆しが見られましたものの、個人消費は依然として横ばいを続け、完全失業率は依然高水準で推移するなど、総じて低迷した状況が続き、デフレ不況から回復の展望が見えない不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもとにおいて、当社の売上高総額は、電装品事業におけるディーゼル排ガス規制強化（2003年10月施行…都条例・NOx規制等）に伴う買い換え需要拡大による受注増加などにより、前年同期対比13.0%増の143億39百万円となりました。

次に事業別の概況につきましてご報告申し上げます。

#### [ 電装品事業 ]

電装品事業とは、ディーゼルトラック・バス用電装品を主とする部門で、国内同業界は、ディーゼル排ガス規制強化に伴う買い換え需要拡大などの受注増加により、国内普通トラック総需要は前年同期の実績を大幅に上回る結果となりました。また、輸出につきましても、東南アジア向けが好調に推移したことなどにより、電装品の当上半期売上高は前年同期対比28.0%増の56億38百万円となりました。

#### [ 汎用品事業 ]

##### 発電機事業

発電機事業とは、可搬式発動発電機および同製品用の発電体を主とする部門で、売上の大部分は海外市場へ向けられております。当上半期は米国向け・中近東向けなどが堅調に推移し、発電機の当上半期売上高は前年同期対比8.4%増の74億33百万円となりました。

##### 冷蔵庫事業

冷蔵庫事業とは、各種車両用・船舶用電気冷蔵庫を主とする部門で、国内につきましては、長引く消費不況の影響を受け大幅に減少し、また、輸出につきましても、主力市場のひとつである米国の大型トラック向け冷蔵庫の受注が減少したことや豪州向けが減少したことなどから、冷蔵庫の当上半期売上高は前年同期対比11.4%減の12億67百万円となりました。

なお、部門別の売上高をまとめてご報告いたしますと、次のとおりとなります。

期別 部門別	当上半期	前年同期	前年同期対比		
	自平成15.4.1 至平成15.9.30	自平成14.4.1 至平成14.9.30	増減額	増減率	
電 装 品	千円 5,638,469	千円 4,404,099	千円 1,234,370	% 28.0	
発 電 機	7,433,489	6,857,044	576,444	8.4	
冷 蔵 庫	国 内	186,500	233,718	47,218	20.2
	輸 出	1,080,706	1,196,806	116,100	9.7
	小 計	1,267,206	1,430,524	163,318	11.4
合 計	14,339,165	12,691,669	1,647,496	13.0	

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

次に、当上半期の損益面につきましてご報告申し上げます。

当社は、従前に引き続き全社を挙げて、原価低減活動、経費削減活動など、経営全般にわたる合理化努力を続けてまいりましたことに加え、国内外市場における販路の拡大強化により、当上半期の売上高総額が前年同期対比16億47百万円増の143億39百万円となりましたことなど操業度の向上がはかれましたことにより、当上半期は経常利益4億7百万円、中間利益は1億62百万円を計上し、前期繰越損失1億17百万円は一掃することができました。

しかしながら当社をとりまく経済環境は依然厳しい状況にあり、株主の皆様には誠に申し訳ございませんが、当中間期の配当は見送らせていただきたいと存じます。何卒、事情ご賢察の上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

当上半期の業績は、以上申し上げましたとおりでございます。

下半期につきましては、電装品は、国内普通トラック総需要はディーゼル排ガス規制による需要増があるものの上半期対比では減少する見込みであり、輸出につきましては、東南アジア向けは堅調に推移するとみられますものの、電装品売上高は上半期対比では減少の見込みであります。

発電機につきましては、流通在庫の調整も進んだことなどから、米国・中近東向けともに堅調に推移するとみられますものの、為替相場などの懸念材料もあり、発電機売上高は上半期対比減少する見込みであります。

また、冷蔵庫につきましては、国内向けは不需要期になりますものの、輸出は豪州が需要期になり増加が見込まれますことなどから、国内外併せまして冷蔵庫売上高は上半期対比若干増加する見込みであります。

このような経営環境のもと、当社といたしましては、全社を挙げて業績の向上、安定化のための諸施策を推進し、株主の皆様のご期待におこたえ申し上げたいと存じますので、従前と変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 貸借対照表

(平成15年9月30日現在)

資産の部		負債及び資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
流動資産	9,021,568	流動負債	9,392,594
現金預金	629,371	支払手形	1,709,650
受取手形	190,924	買掛金	3,947,872
売掛金	5,319,238	短期借入金	2,215,000
製品	967,674	1年以内返済予定長期借入金	176,666
原材料	54,531	未払金	161,499
仕掛品	1,500,491	未払法人税等	319,594
貯蔵品	28,488	未払消費税等	49,950
短期貸付金	5,223	未払費用	180,922
繰延税金資産	265,274	預り金	165,943
その他の流動資産	116,048	賞与引当金	358,300
貸倒引当金	55,698	製品保証引当金	18,400
固定資産	7,036,201	設備関係支払手形	88,793
有形固定資産	3,916,710	固定負債	2,539,506
建物	1,076,855	長期借入金	289,438
構築物	90,023	繰延税金負債	30,564
機械及び装置	1,328,191	退職給付引当金	2,127,228
車両運搬具	15,557	役員退職慰労引当金	92,275
工具器具備品	350,668	負債計	11,932,100
土地	1,014,422	資本金	1,080,500
建設仮勘定	40,991	資本金	1,080,500
無形固定資産	66,507	資本剰余金	117,721
施設利用権	1,196	資本準備金	117,721
ソフトウェア	59,281	利益剰余金	1,726,473
その他無形固定資産	6,030	利益準備金	171,140
投資等	3,052,983	任意積立金	1,510,000
投資有価証券	2,493,092	中間未処分利益	45,333
子会社株式	29,100	(うち中間利益)	(162,831)
子会社出資金	218,442	株式等評価差額金	1,202,118
長期貸付金	19,058	自己株式	1,144
子会社長期貸付金	210,000	資本計	4,125,669
その他投資	83,890	合計	16,057,770
貸倒引当金	600		
合計	16,057,770		

## 損 益 計 算 書

〔自 平成15年4月1日  
至 平成15年9月30日〕

科 目	金 額	
( 経常損益の部 )	千円	千円
営業損益の部		
営業収益		
売上高		14,339,165
営業費用		
売上原価	13,152,960	
販売費及び一般管理費	814,731	13,967,692
営業利益		371,472
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息配当金	15,343	
為替差益	19,361	
その他収益	16,263	50,967
営業外費用		
支払利息	10,860	
その他費用	3,962	14,822
経常利益		407,617
( 特別損益の部 )		
特別利益		
投資有価証券売却益	1,179	
その他特別利益	165	1,344
特別損失		
有形固定資産廃却損	14,040	
退職給付会計基準変更時差異償却額	121,185	135,226
税引前中間利益		273,735
法人税、住民税及び事業税	321,000	
法人税等調整額	210,095	110,904
中間利益		162,831
前期繰越損失		117,497
中間未処分利益		45,333

( 中間財務諸表作成の基本となる重要な事項 )

1 . 有価証券の評価基準及び評価方法

子 会 社 株 式.....原価法に基づく移動平均法を  
採用している。

その他有価証券

時価のあるもの...中間期末日の市場価格等に基づ  
く時価法を採用している。

( 評価差額は全部資本直入法により処理し、売  
却原価は移動平均法により算定している。 )

時価のないもの...原価法に基づく移動平均法を  
採用している。

2 . たな卸資産の評価基準及び評価方法

製品・仕掛品・原材料...原価法に基づく先入先出法  
を採用している。

貯 蔵 品.....原価法に基づく最終仕入原  
価法を採用している。

3 . 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用している。

但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建  
物附属設備を除く)については、定額法を採用して  
いる。

(2) 無形固定資産

定額法を採用している。

但し、ソフトウェア(自社利用)については、社  
内における見込み利用期間(5年)による定額法を  
採用している。

4 . 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

当中間期末の債権の貸倒に備え、一般債権につい

ては貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

#### (2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備え、支給見込額のうち当中間期の負担額を計上している。

#### (3) 製品保証引当金

製品販売後の無償サービス費用の支出に備え、補修費の実績率に基づき、当中間期の負担額を計上している。

#### (4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、会計基準変更時差異（1,211,857千円）については、5年による按分額を費用処理している。

#### (5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当中間期末要支給額を計上している。

この役員退職慰労引当金は商法施行規則第43条の引当金である。

### 5 . リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### 6 . ヘッジ会計の方法

為替変動リスクのヘッジについて振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を採用している。

## 7. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

(貸借対照表の注記)	当中間期
1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示してある。	
2. 有形固定資産の減価償却累計額	11,653,019千円
3. 子会社に対する金銭債権債務	
短期金銭債権	808,623千円
長期金銭債権	210,000千円
短期金銭債務	81,851千円
4. 担保に供している資産	
有形固定資産	1,648,733千円
5. 受取手形割引高	- 千円
(うち、中間期末日満期手形)	( - 千円)
6. 有形固定資産の国庫補助金による圧縮記帳額	57,585千円
7. 1株当たりの中間利益	7円54銭
8. 商法施行規則第124条第1項第3号に規定する純資産額は1,202,118千円である。	

## (損益計算書の注記)

- 記載金額は千円未満を切り捨てて表示してある。
  - 子会社との取引高
- |          |           |
|----------|-----------|
| 営業取引高    | 704,844千円 |
| 営業以外の取引高 | 8,578千円   |

## ご参考

## 連結貸借対照表

(平成15年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	千円	(負債の部)	千円
流動資産	9,520,969	流動負債	9,569,569
現金及び預金	700,614	支払手形及び買掛金	5,771,021
受取手形及び売掛金	5,119,152	短期借入金	2,416,099
たな卸資産	3,348,207	未払法人税等	327,104
繰延税金資産	278,138	賞与引当金	362,100
その他	128,817	製品保証引当金	18,173
貸倒引当金	53,959	その他	675,070
固定資産	7,065,368	固定負債	2,585,473
有形固定資産	4,386,726	長期借入金	324,295
建物	1,187,962	繰延税金負債	30,784
機械及び装置	1,586,247	退職給付引当金	2,138,117
土地	1,054,044	役員退職慰労引当金	92,275
その他	558,470	負債計	12,155,043
無形固定資産	67,008	(少数株主持分)	
投資その他の資産	2,611,633	少数株主持分	108,989
投資有価証券	2,493,092	(資本の部)	
繰延税金資産	14,282	資本金	1,080,500
その他	119,415	資本剰余金	117,721
貸倒引当金	15,156	利益剰余金	1,856,322
資産合計	16,586,338	その他有価証券 評価差額金	1,202,118
		為替換算調整勘定	66,788
		自己株式	1,144
		資本計	4,322,305
		負債、少数株主 持分及び資本合計	16,586,338

## ご参考

## 連結損益計算書

〔自 平成15年4月1日  
至 平成15年9月30日〕

科 目	金 額	
	千円	千円
売 上 高		15,230,091
売 上 原 価	13,935,672	
販売費及び一般管理費	895,028	14,830,701
営 業 利 益		399,390
営 業 外 収 益		
受取利息配当金	10,807	
為替差益	20,400	
その他収益	8,982	40,189
営 業 外 費 用		
支払利息	7,041	
その他費用	9,346	16,387
経 常 利 益		423,192
特 別 利 益		
投資有価証券売却益	1,179	
その他特別利益	165	1,344
特 別 損 失		
有形固定資産廃却損	14,040	
退職給付会計基準変更時差異償却額	121,185	135,226
税金等調整前中間純利益		289,310
法人税、住民税及び事業税	330,518	
法人税等調整額	222,422	108,095
少数株主損失		2,679
中 間 純 利 益		183,894

## 株式の概況

発行済株式総数 21,610,000株

株主数 2,675名

大株主（上位10名）

株 主 名	当 社 へ の 出 資 の 状 況	
	持 株 数	議 決 権 比 率
日野自動車株式会社	6,535千株	30.48%
株式会社デンソー	2,000	9.32
本田技研工業株式会社	1,300	6.06
株式会社りそな銀行	1,000	4.66
澤藤電機従業員持株会	690	3.21
株式会社三井住友銀行	600	2.79
株式会社UFJ銀行	400	1.86
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	325	1.51
中央三井信託銀行株式会社	300	1.39
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	283	1.31

（注）記載持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

## 会社の概要

英文社名 SAWAFUJI ELECTRIC CO.,LTD.

創 立 大正 8 年 5 月10日

資 本 金 1,080,500千円

従 業 員 (平成15年 9 月30日現在)

区 分	従 業 員 数	前期末対比	平 均 年 齢	平均勤続年数
男 性	699名	5 名増	40.4歳	17.9年
女 性	84名	2 名増	30.5歳	10.5年
計	783名	7 名増	39.3歳	17.1年

## 事業内容

当社は下記製品の製造販売を行っております。

電装品 主としてディーゼルトラック・バス用電装品であります。このほか汎用・舶用電装品および油圧機器用小型DCモータも扱っております。

発電機 主として可搬式発動発電機および同製品用発電体であります。このほか可搬式溶接機も扱っております。

冷蔵庫 主として各種車両用および船舶用電気冷蔵庫であります。

事業所

本社 東京都練馬区豊玉北6丁目15番14号

東京事務所 同上

新田工場 群馬県新田郡新田町早川3番地

役員（平成15年9月30日現在）

代表取締役社長	上	光	勲
専務取締役	竹	内	正行
常務取締役	岡	本	勝幸
常務取締役	柴	田	政春
取締役	松	本	和男
取締役	板	倉	勝洋
取締役	青	柳	豊
取締役	石	川	孝明
取締役	坂	本	伊知郎
取締役	志	村	勝己
取締役	瀬	尾	信一郎
常勤監査役	川	村	政司
監査役	小	澤	哲夫
監査役	鈴	木	孝幸
監査役	三	宅	信弘

## 株 主 の メ モ

決 算 期 3月31日

定時株主総会開催期 6月下旬

株 主 確 定 日

定時株主総会  
利益配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

公 告 掲 載 新 聞 東京都において発行する  
日本経済新聞

名義書換手数料 無 料

名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 所 東京都杉並区和泉二丁目8番  
4号(〒168-0063)  
中央三井信託銀行株式会社  
証券代行部  
電話 (03)3323-7111  
(大代表)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社  
全国各支店  
日本証券代行株式会社  
本店・全国各支店

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所、大阪証券取  
引所